

教育学部 教員養成課程

		到達目標	ディプロマポリシー			
			感じる力	考える力	コミュニケーション力	生きる力
教職課程科目	教科及び教科の指導法に関する科目	<p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科に関する専門的な知識と、幼児、児童及び生徒の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解し立案できる。</li> <li>・学習指導要領における当該教科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解したうえで授業等を計画・実践し、さらなる改善策を考え示すことができる。</li> </ul> <p><b>【態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科に関する専門性について自己研鑽の必要性を理解し、主体的・自律的に学び続ける意欲や態度を身につけることができる。</li> <li>・当該教科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組み、さらなる改善策を考え示すことができる。</li> <li>・発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを説明することができる。</li> <li>・子どもの多様性を認め、一人ひとりに配慮した教育を行うことができる。</li> </ul> <p><b>【技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科に関する専門的な知識に基づいて授業を実践することができる。</li> <li>・当該教科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。</li> <li>・教員に求められる使命や責任及び、個別の学習内容についての指導上の留意点を理解し、幼児や児童生徒の心身の成長を支えつつ当該教科の学習評価を行うことができる。</li> </ul>	◎	◎	○	○
	教育の基礎的理解に関する科目	<p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の基本的概念、理念、歴史や思想、及び教育及び学校の営みがどのように捉えられ変遷してきたのかを理解し説明できる。</li> <li>・現代の学校教育に関する社会的、制度的又は経営的事項について基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解ししたうえで諸課題を把握し、解決策を考え示すことができる。</li> </ul> <p><b>【態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに子供の適性を判断し進路選択に寄与できる。</li> <li>・学校や教育に関する専門性について自己研鑽の必要性を理解し、主体的・自律的に学び続ける意欲や態度を身につけることができる。</li> <li>・学習指導要領を基に各学校において編成される教育課程について意義や編成の方法を理解し、カリキュラム・マネジメントができる。</li> </ul> <p><b>【技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員に求められる使命や責任を理解し、子供の心身の発達及び学習の過程について基礎的な知識を身につけ、幼児や児童生徒の心身の成長を支えつつ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支えることができる。</li> <li>・幼児、児童及び生徒が、学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び生</li> </ul>	◎	◎	◎	◎

		<p>きる力を身に付けていくことができるよう、子どもの多様性を認め、一人ひとりに配慮した教育を行うことができる。また、同僚、保護者、地域の人々と協働しながら諸課題の解決に取り組むことができる。</p>				
<p>道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目</p>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え支援するために必要な基礎的事項を理解したうえで授業等を計画・実践し、さらなる改善策を考え示すことができる。</li> <li>・これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法・技術を身に付け、情報機器及び教材を活用できる。</li> </ul> <p>【態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育活動全体を通じて行う道徳科の目標や内容、指導計画等を理解し、教材研究や模擬授業等を通して実践的な指導力を身に付け、自己研鑽の必要性を理解し、主体的・自律的に学び続ける意欲や態度を身につけることができる。</li> <li>・「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持ち協働しながら諸課題の解決に取り組むとともに、特別活動の特質を踏まえた指導を行うことができるとともに自己研鑽の必要性を理解し、主体的・自律的に学び続ける意欲や態度を身につけることができる。</li> </ul> <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえ、教員に求められる使命や責任を理解し、幼児や児童生徒の心身の成長を支えつつ道徳性を育成する教育活動ができる。</li> <li>・各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用し広範な事象を俯瞰して捉え、指導計画の作成、具体的な指導、並びに学習活動の評価ができる。また、同僚、保護者、地域の人々と協働しながら諸課題の解決に取り組むことができる。</li> </ul>	◎	◎	◎	◎	
<p>教育実践に関する科目</p>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習校（園）の学校経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制について理解したうえで、諸課題を把握して解決策を考え示すことができる。</li> <li>・教育実習校（園）の幼児、児童又は生徒の実態と、これを踏まえた学校経営及び教育活動の特色を理解したうえで、諸課題を把握して解決策を考え示すことができる。</li> <li>・教員に求められる使命や責任を理解し、幼児や児童生徒の心身の成長を支えることができる。</li> </ul> <p>【態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの多様性を認め、一人ひとりに配慮した教育を行うことができる。また、同僚、保護者、地域の人々と協働しながら諸課題の解決に取り組むことができる。</li> <li>・実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚したうえで自己研鑽の必要性を理解しつつ意欲的に教育実践に参加し、主体的・自律的に学び続ける意欲や態度を身につけることができる。</li> <li>・指導教員等の実施する授業を視点を持って観察し、事実即して記録することができ、さらなる改善策を考え示すことができる。</li> </ul> <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員に求められる使命や責任を理解し、学習指導要領及び幼児、児童又は生徒の実態等を踏まえた適切な学習指導案を作成し、幼児や児童生徒の心身の成長を支える授業実践ができる。</li> </ul>	◎	◎	◎	◎	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導に必要な基礎的技術を実地に即して身に付けるとともに、子どもの多様性を認め、一人ひとりに配慮した教育を行うことができる。また、同僚、保護者、地域の人々と協働しながら諸課題の解決に取り組むことができる。</li> <li>・社会人としての教養や公正な態度、柔軟な思考を身につけ、地域社会の動向を踏まえながら、責任ある行動をとることができる。</li> </ul>				
--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--

## 教育学部ディプロマポリシー (DP)

三重大学教育学部は、学校現場における諸課題に対応できる実践的指導力を身につけた地域に貢献しうる教育人材を育成します。教育学部は、次のような資質・能力を備えた人に対して、厳格な評価基準に基づいて学位を授与します。

### ・「感じる力」

教員に求められる使命や責任を理解し、幼児や児童生徒の心身の成長を支えることができる。

### ・「考える力」

教育に関する専門的な知識や技能に基づいて学級等を経営するとともに、授業等を計画・実践し、さらなる改善策を考え示すことができる。また、教育をめぐる諸課題を把握し、解決策を考え示すことができる。

### ・「コミュニケーション力」

子どもの多様性を認め、一人ひとりに配慮した教育を行うことができる。また、同僚、保護者、地域の人々と協働しながら諸課題の解決に取り組むことができる。

### ・「生きる力」

社会人としての教養や公正な態度、柔軟な思考を身につけ、地域社会の動向を踏まえながら、責任ある行動をとることができる。また、自己研鑽の必要性を理解し、主体的・自律的に学び続ける意欲や態度を有している。